

広報担当が取材に行きます。あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。カシャ!!
秘書広報課 ☎0040 ✉koho@city.makinohara.lg.jp



協定書を手に記念撮影する加藤代表取締役CEOと杉本市長

農業を軸に新しい取り組みのために

■農業を軸とする地域活性化に向けた連携と協力に関する協定市と株式会社エムスクエア・ラボは4月15日、「農業を軸とする地域活性化に向けた連携と協力に関する協定書」の締結式を行いました。

これは、農業を軸とした地域活性化策についての取り組みを推進し、地域産業の振興を図ることを目的としたもの。同社の加藤百合子代表取締役CEOは、「市の更なる発展のために協力していきたい」とあいさつしました。

式では、農業用ロボットの操作実演や今後の取り組みについて意見交換を行いました。

お茶など特産品の魅力を発信

■俳優・湯本亜美さんがJAハイナンアンバサダー就任 湯本亜美さん（俳優・AKB48の元メンバー）がJAハイナン公式アンバサダー（大使）に就任し、4月8日に同JA本店で就任式が行われました。

これは、茶を中心とした特産品と同JAのPR、新規利用者の拡大、農家組合員の所得向上を目指したものです。湯本さんは「全国にJAハイナンのお茶や農産物の魅力を伝えていきたい」と意気込みを話しました。

今後は、SNSでの発信やJAでのイベント参加などを行っていきます。



アンバサダーに就任したAKB48元メンバーの湯本さん



原油のくみ上げを見守る来場者

原油のくみ上げに大勢の人興味津々

■相良油田の里公園「原油汲み上げと桜まつり」

「原油汲み上げと桜まつり」が4月7日、相良油田の里公園で6年ぶりに開催されました。

相良油田は、明治初期から昭和30年頃まで、良質な原油を産出し続けた太平洋側で唯一石油が採掘された油田です。桜まつりに合わせて原油のくみ上げを行っており、今回は約10リットルをくみ上げました。

満開の桜の下、くみ上げた原油でのバイク走行や発動機の運転、地元バンドの演奏、農産物の販売なども行われました。

豪華客船がつなぐ世界と牧之原

■「ダイヤモンド・プリンセス」号が御前崎港に寄港 イギリスの大型豪華客船「ダイヤモンド・プリンセス」が4月6日、御前崎港に初めて寄港しました。

御前崎港周辺のにぎわいの創出、周辺市町の活性化などを目的としたもの。客船は全長290m、乗客定員数は2,900人を超え外国籍の乗客が大半を占めました。港では、飲食店・工芸品・書道体験ブースを設置。市内各所では、うどん作りや新芽の茶天ぷら作りといったさまざまな体験イベントが催され、大いににぎわいました。



日本文化お土産販売ブースに集まる外国籍の乗客

晴天の下、競走馬が砂浜を疾走

■第46回さがら草競馬大会

第46回さがら草競馬大会が4月28日、さがらサンビーチで開かれました。

かつて中央競馬や地方競馬で活躍したサラブレッドなどが1周700メートルの砂浜のコースを周回する国内唯一の大会です。当日出走した馬は約40頭。県内外から多くの競馬ファンや観光客など約1万5千人が訪れ、砂煙を上げて力強く疾走する競走馬の迫力に大きな歓声を上げました。このほか、子どもによる人間草競馬や宝探しゲームなども行われ、会場は大いににぎわいました。



砂煙を上げて砂浜のコースを疾走する競走馬



長藤の香りを楽しむ来場者

樹齢100年を超える長藤の香り

■東光寺長藤まつり

東光寺長藤まつりが4月13日から27日まで開催され、市内外から集まった多くの来場者でにぎわいました。

市指定天然記念物である東光寺の長藤は、大正4（1915）年に磐田市の行興寺から譲り受けた「熊野の長藤」の一枝から始まりました。現在は樹齢100年を超え、藤棚は20メートル四方に広がり、見事な薄紫の花房を咲き誇ります。会場では、子供から大人まで多くの来場者が甘い香りを楽しみました。

市民の安全安心を守るために

■令和6年度牧之原市消防団辞令交付式

市消防団辞令交付式が4月7日、静波体育館で観閲者である杉本市長や市議会議員、静岡市消防局牧之原消防署長などが出席し、開催されました。

本年度の新入団員は52人（うち女性消防隊5人）で、神崎兜典団長から代表の藁谷都さんと鈴木さや子さんに辞令書が交付されました。

団長から「自らの地域は自ら守るという精神で、市民の安全安心のために自信と誇りを持って活動してください」と訓示を受けた新入団員や団員らは、引き締まった表情を見せていました。



神崎団長から辞令書を受け取る新入団員代表の2人



椋原高校書道部による書道パフォーマンス

勝間田城址が刻んだ548年の歴史

■勝間田城址現地見学会

勝間田城址現地見学会が4月6日、静岡県指定史跡文化財に指定されている勝間田城址で開催されました。

これは「城（しろ）の日」にかけて企画されたもの。参加者は、案内人である静岡古城研究会の望月保宏会長らから、廃城から548年経った勝間田城址の歴史などを聞きながら散策。また、地域の人たちによる城下楽市や御城印販売、椋原高校書道部によって屋外で初めて披露する書道パフォーマンスなども行われました。